

## 22. PMD用電動ロクロの試作改良について

国立徳島療養所

早田 正 則      川 合 恒 雄  
中西      試

我々は先にPMD患者が土に親しみ、また、創作活動領域を拡大できるようにするため、陶芸用電動ロクロの試作改良を行なった。今回、同じものをPMD病棟を持つ10施設に配布し、その使用経験についてアンケートを用い調べたので、以下6項目に分け要約し報告する。回答があったのは6施設であり、障害程度については、厚生省班会議制定の8段階法を使用している。

### 1) 陶芸一般について

創作活動として豊富な意味あいを持つが、作品評価の基準があいまいである。身障者の作業を論じる時、よく創造的(芸術的)作業と下請けの作業に分類されるが、前者に共通する問題とも思われる。ここでは量的、金銭的な評価は与えられにくい。しかし、我々は創造的作業の方がPMD患者の生きがいを内包しやすいと思っている。次に、介助・費用・場所・準備時間・作業時間で不利であるという指摘があった。また、技術・知識的に高度なものが要求されるため現在のスタッフで対応できない場合が多いなどの指摘もあった。これらは単に陶芸に限らず、創造的作業の場合共通した問題と思われ、研究的余地を残している。

### 2) ロクロ台関係について

台上面の大きさについては60cm前後～100cm前後がよい。形状はオーバーテーブルような物でよい。台上面の上下可動範囲は60cm～110cm前後がよい。なお、この場合の操作がもっと簡単にできるものがよく、脚をもっと強いものにする必要がある。

ターンテーブル・水槽・水道蛇口がもっと手前があるとよい。ステンレス仕上げだと粘土がくつきすぎる。患者のひじを持ち上げる必要がある。水処理に水切り溝などの工夫がある。患者に対面して指導者等が使用できる物がよい。ターンテーブルのそばにへらなどの固定ができるような万能スタンドをとりつけてはどうか。

### 3) ターンテーブル関係について

6～7度まで使用が可能。テーブルはとりはずし交換のできるものがよい。回転数は35～100回転位が適当。また、回転トルクは現行あるいはより強い方がよい。垂直断面で見た場合、台形になるものがよいのでは。上面に同心円のきざみは何本かあるとよい。

### 4) 水道関係について

6～7度まで使用が可能。蛇口レバーについても患者が使用できるものがよい。

### 5) コントロールボックス関係について

6～7度まで操作可能。8度でも変形・拘縮の少ない者は操作可能。もっと小さく軽くした方が良い。吸盤または取り付け金具を使用し、ボックスを半固定にする必要がある。

#### 6) 使用経験について

使用人数について記入があったのは5施設であり、トータルで起立7名・椅子16名・車椅子16名・ベッド0名であった。使用時間についてはそのうち2施設から解答を得た。延べ使用時間は184時間であった。また、毎週4時間(1名)使用しているという施設が1施設あった。

今後は台の上下可動を電動式にすること、指導者が対面して使用できることを考えている。また、その他の問題はコストアップにつながらない範囲で対応してみたいと思っている。

## 23 電動油圧リモートコントロール水洗トイレ付ベッドの効果的活用について

国立療養所西別府病院

秋吉 雅子      百武 多津子  
小畑 千代子

### 〔目 的〕

体重が重く、排便時又は、ベッド上での体位が不安定である患者に、この電動式ベッドを使用することにより患者の安楽、安全をはかり、同時に看護者の身体的負担を軽減させる。

当病棟患者概況	障害度別	体重別構成
① 患者数	36名 (男27名、女9名)	
② 疾患	PMD 31名 その他 5名	
③ 障害度	(厚生省案)	
④ 体 重		

↓  
**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります  
↓

我々は先に PMD 患者が土に親しみ、また、創作活動領域を拡大できるようにするため、陶芸用電動ロクロの試作改良を行なった。今回、同じものを PMD 病棟を持つ 10 施設に配布し、その使用経験についてアンケートを用い調べたので、以下 6 項目に分け要約し報告する。回答があったのは 6 施設であり、障害程度については、厚生省班会議制定の 8 段階法を使用している。